

キンシゴケ科

ケキンシゴケ

Distichium capillaceum (Hedw.) Bruch et Schimp. in B.S.G.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… ー

■ 県内分布

佐用町

■ 国内分布

北海道、本州、四国

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態	○	分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

ー

■ 保護上の留意点

ー



写真提供:秋山弘之

■ 種の概要

茎は細く長さ1-4cmになり、葉ははっきりと2列に並び、これがキンシゴケ属との良い区別点となる。葉は長さ2.5-5mm、透明で幅広い鞘状の基部から急に長く細い葉身部に伸び、葉身部は反り返る。中肋は太く、葉身部の大半を占め、背面にマミラがある。葉鞘部の細胞は長卵形から線形、長さ30-75μm、透明で平滑。雌雄同株(異苞)。蒴柄は頂生、長さ8-20mm。蒴は円筒形から卵状円筒形で直立からわずかに傾く。蒴歯は16本、線形でパピラに被われる。高山帯から亜高山帯の地上や岩隙に生え、石灰岩地にも多い。